



# 幕山っ子だより

2022年(令和年)7月4日発行 No.14



## 子どもとつながる7つの習慣

子どもとずっと対話を続けていきたい、よい関係を築きたいというのは親の願いだと思います。昨年度、学校だより28号でも紹介した児童発達学研究者 島村華子先生の「自分でできる子に育つほめ方叱り方」の著書によると、「子どもとつながる7つの習慣」が紹介されていました。



- ①応援する (子どもが何かを達成できるようにサポートする)
- ②励ます (失敗したときや落ち込んでいる時に勇気づける)
- ③傾聴する (子どもの気持ち、声によく耳を傾ける)
- ④信頼する (偏見をもたずに子どもの力を信じて待ってみる)
- ⑤尊重する (一人の個人として子どもを敬う)
- ⑥違いを話し合う (意見や価値観の違いが生じたときも歩み寄る努力をする)

- ⑦受け入れる (子どものありのままを認める)
- 例えば、子どもが失敗した時に、「つながる習慣」を適応すると、「気を付けていても、失敗することもあるよね。」(受け入れる)  
 「どうやったら失敗しないようにできるか、一緒に考えてみようか。」(応援する)  
 「そうか。あなたは、〇〇してみたかったんだね。」(傾聴する)  
 「わたしは〇〇するけど、あなたはどうしたい？」(違いを話し合う)

このように、「つながる習慣」を意識して実践すると、驚くほどよりよい関係性が生まれます。子どもとよりよい関係を築くために、子どもとの幸福度を上げるためにも「つながる7つの習慣」を意識して、日常のコミュニケーションに取り入れてみてください。

## 自分たちができることを!

先日、5年生3人が放課後、「ごみ拾いをしました。」と言って、ビニル袋いっぱいにごみを拾って、持ってきてくれました。話を聞くと、3人は声を掛け合い、自主的に地域や学校のごみ拾いを行ったようです。このように、自分たちができることを考え、行動することが素晴らしいです。

5年  
 岡崎智優くん  
 佐藤一貴くん  
 中藤佑太くん



## 分散型授業参観へのご参加ありがとうございました

先週金曜日、長い間実施できなかった授業参観を行うことができました。今回の授業参観は感染症防止の観点から「分散型授業参観」として、密にならないように、4校時と5校時に分けて行いました。4校時は68名、5校時は105名、合計173名(来校状況88%)の保護者の方が参観してくださいました。ご多用の中、来校に協力していただき、本当にありがとうございました。

特に1年生の子どもたちは、朝から「お家の人今日は来てくれるよ!」「4時間目のお勉強を見に来るよ!」など満面の笑みで教えてくれました。楽しみにしている子もいれば、いつもとは違った緊張感をもっている子もいたと思います。そんな中、集中して学ぶ姿、自ら意欲的に発表する姿、友だちの考えを聞き、考えを深める姿などが見られました。ぜひご家庭でも子どもたちの頑張りを褒めてあげてください。

早いもので1学期終了まで、あと1か月。暑さ対策・コロナ対策を行いながら、子どもたちが成長を実感できるように、良さや頑張りを認めながら、学びを深めていきたいと思います。



各クラスの授業・子どもたちの様子